

連絡事項：

下ノ江（奥）で、有害種のカレニア ミキモイが警戒密度を超えて確認されました。また、臼杵湾の他の地点でもカレニア ミキモイが確認されており分布域を拡大しています。魚介類の管理にはくれぐれもご注意ください。

表1 臼杵湾赤潮プランクトン調査結果(R4.7.29)

単位：細胞数／c.c

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	溶存酸素 (mg/l)	シャトネラ spp.	カレニア ミキモイ	ヘテロシグマ アカシオ	ゴニオラックス ポリグラマ
1. 大在	7:45	0	25.8	—	—	0	5	9	0
2. 神崎	7:54	0	25.4	—	—	0	0	1	0
3. 古宮	8:32	0	25.9	—	—	0	0	6	0
4. 一尺屋	8:45	0	24.7	—	—	0	1	4	0
5. 下の江	9:03	0	25.4	32.73	7.1	0	1	4	0
		8	21.8	33.28	6.3	0	183	0	0
6. 下の江（奥）	9:07	0	26.4	32.62	7.0	0	1	21	0
		9	21.8	33.27	6.1	0	2400	0	0
7. 日ノ浦	9:36	0	25.2	32.90	6.1	0	1	2	0
		8	21.9	33.28	6.1	0	88	2	0
8. 三つ子養殖場	9:18	0	25.9	32.67	7.0	1	1	4	0
		9	21.9	33.27	6.6	0	9	4	0
大分みらい水産		11	21.8	33.29	6.4	0	54	3	0
9. 三つ子養殖場 臼杵海産	9:14	0	26.6	32.36	6.9	0	8	4	0
		9	21.8	33.26	6.4	0	122	0	0
		10	21.7	33.29	6.1	0	158	0	0
10. 三つ子島沖	9:23	0	26.6	32.66	7.0	0	3	7	0
		6	21.9	33.28	6.7	0	13	2	0
11.黒島	9:30	0	24.4	32.83	7.2	0	2	0	0
		5	22.3	33.20	6.5	0	12	1	0
12. 日代	9:09	0	24.7	—	—	0	0	5	0

※地点1～12において中部振興局採水・検鏡

参考：赤潮注意・警戒密度（単位：細胞数／c.c）

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャトネラspp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモイ	200以上	2000以上
コックロデニウム・ホリクイコイデス	30以上	300以上

*警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

*マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。

